

COP10開催1年前記念行事を開催

COP10支援実行委員会は、COP10開催を1年後に控え、より多くの方々にCOP10の開催意義や具体的な内容を理解していただくとともに、COP10成功へ向けての機運の醸成を図るために、10月10日～11日に「生物多様性フェスティバル」、12日に「生物多様性フォーラム」をそれぞれ開催した。

(1) 生物多様性フェスティバル

愛・地球博記念公園に於いて、「生物多様性フェスティバル」を開催し、COP10支援実行委員会広報アドバイザーである矢野きよ実氏、マリ・クリスティーナ氏によるトークセッション、歌手の藤井フミヤ氏等によるコンサート、また自然を感じながら公園内を楽しく走るナチュラルスロン等のイベントが開催され、2日間で述べ約17,500名が来場した。



(2) 生物多様性フォーラム

名古屋国際会議場に於いて行われた「生物多様性フォーラム」では、オープニング式典、記念講演、NGO/NPOプレフォーラム、セクター間対話

フォーラムを開催し、約2,500名が来場した。

オープニング式典では、神田愛知県知事(COP10支援実行委員会会長)、河村名古屋市長(同会長代行)、岡田名商会頭(同副会長)とともに川口中経連会長(同副会長)が主催者の1人としてステージに登壇し、「経済団体として、COP10を中部をアピールする絶好の機会と位置付け、世界の方々へ最先端の技術等を紹介していきたい」と開会メッセージを述べた。

また、本式典には、田島一成環境副大臣、アハメッド・ジョグラフィ生物多様性条約事務局長も出席した。

第2部の企業プレフォーラムでは、「経営者の視点での環境問題の取り組み」と「環境問題に取り組む際のリーダーシップ」をテーマにパネルディスカッションを行い、三田中部電力(株)社長(中経連副会長)が、佐々木(株)ユニー会長、深谷(株)デンソー会長、佐藤(株)損害保険ジャパン社長とともにパネリストとして出席した。



COP10ロゴマーク及びスローガンの策定

COP10の議長国である日本政府には、会議のテーマに沿ったロゴマーク及びスローガンの作成が求められており、今年3月の生物多様性条約COP10/MOP5関係省庁連絡会議（外務省、環境省、農林水産省、経済産業省、国土交通省）において、COP10のロゴマーク及びスローガンを策定することが決定した。その後、生物多様性条約事務局と関係省庁連絡会議が意見交換をし、10月13日にCOP10ロゴマークとスローガンを公表した。



<COP10スローガン>

(英語) Life in harmony, into the future

(日本語) いのちの共生を、未来へ

国際生物多様性年ロゴマーク及びスローガンの策定

平成22年(2010年)は国連の定めた国際生物多様性年であることから、生物多様性条約事務局は、国際生物多様性年に関するロゴマークとスローガンを策定し、9月14日に公表した。



<国際生物多様性年スローガン>

(英語) Biodiversity is life.

Biodiversity is our life.

(日本語) 生物多様性、それはいのち

生物多様性、それは私たちの暮らし

第4回 日中韓観光大臣会合

日本、中国、韓国の3カ国の観光交流と協力体制の強化を目的とした「第4回日中韓観光大臣会合」及び関連行事が下記のとおり開催された。

① 中部観光プレゼンテーション

(会場:産業技術記念館)

・開催日:10月17日(土)

・内容:

中部地域の観光の魅力を中国・韓国の観光関連団体・企業に紹介。3カ国の民間代表トップ交流会も行われた。

中部広域観光推進協議会会長として出席した川口中経連会長は、「中部地域は日本の豊かな自然と文化、産業にふれられる格好の地域であり、是非魅力を満喫して頂きたい。この会合を機に3カ国間の観光交流が益々活発になることを祈念する」と挨拶した。

・参加者数:約250名

② 歓迎晚餐会

(会場:ウェスティンナゴヤキャッスル)

・開催日:10月17日(土)

・内容:

前原国土交通大臣及び中国・韓国の観光大臣挨拶、各種アトラクションほか。中経連からは川口会長が出席した。

・参加者数:約450名

③ 日中韓観光大臣会合

(会場:名古屋市公館)

・開催日:10月18日(日)

・内容:

日中韓の観光交流に関する下記項目を柱とした共同声明が採択された。

◆第4回日中韓観光大臣会合「共同声明」の主な合意事項

1. 国際的な金融危機、新型インフルエンザをはじめとする現在の諸課題の克服と国際観光交流の回復に向けた取り組み
2. 東アジア観光大交流時代の到来への対応
3. 地球温暖化問題への対応

④ 民間観光フォーラム

(会場:名古屋国際会議場)

・開催日:10月18日(日)

・内容:

「3カ国共同観光キャンペーン」及び「観光分野における危機管理体制」に関するパネルディスカッション。

・参加者数:約250名

三河中央エリア経済会議

11月9日、「三河中央エリア経済会議」が岡崎市内で開催され、中経連から川口会長が出席した。この会議は、平成6年9月に「三河湾中央部と内陸地域の経済団体相互の連携を図り、人・物・情報のネットワーク化を通じ、地域発展に寄与すること」を目的に設立され、三河湾に隣接する3つの商工会議所(岡崎、蒲郡、西尾)と6つの商工会(岡崎六ツ美、一色、吉良、幡豆、幸田、岡崎市ぬかた)で構成されている。

今回開催された会議は、「地域資源とその活用」について、3商工会議所と6商工会がそれぞれの取り組みについて情報交換を行った。

川口会長は、「将来を見据えて今から知恵を絞り、地域が競争と連携をしながら、“地域づくり”を行うことがこれからますます重要となってくる。中経連

として、この地域の発展のために必要な社会資本整備や産業振興、観光などの課題に対して、これからも地域の方々と協力しながら、根強く新政権に要望、提言を実施するとともに、ものづくりを担う人材育成が必要である」と述べた。



張立国・駐名古屋中国総領事が表敬訪問

10月30日、在名古屋中国総領事館の張立国・総領事、白春華・首席領事等3名が中経連を訪れ、川口会長、山内専務理事と懇談した。

在名古屋中国総領事館は、2005年10月に領事館として開設、2007年7月に総領事館に昇格し、愛知・岐阜・三重・福井・石川・富山の6県を管轄している。張総領事は東京の大使館と福岡の総領事館で15年半の勤務経験があり、日本語が流暢である。

川口会長は、張総領事が2004年までの東京勤務の折に名古屋領事館を開設するための現地調査に尽力されたことに謝意を表するとともに、来年の上海万博のイベント成功と日中両国の友好親善増進についての期待を述べた。

張総領事は「中部地域からは3千社以上が対中投資を行っており、中部経済の重要性を高く認識している。来年は上海万博とともに、江蘇省と愛知県の友好

都市提携30周年記念イベントも支援したい。また、今後増加が見込まれる中国人観光客を中部地域に呼ぶ込む方法を、当地域の観光関係者と相談していきたい」と述べた。



中部国際空港利用促進協議会

「フライ・セントレア・カーゴ」パートナー企業連絡会

中部国際空港利用促進協議会(代表理事:川口中経連会長、岡田名商会頭)は、10月20日、「『フライ・セントレア・カーゴ』パートナー企業連絡会」を名古屋商工会議所において開催した。

連絡会には「フライ・セントレア・カーゴ」事業の趣旨に賛同するパートナー企業関係者等約100名が出席。パートナー企業に対して、輸入促進キャンペー

ン、トラック共同輸送等の取り組み状況や活動成果を報告するとともに、航空貨物におけるセントレアの優先利用を改めて呼びかけた。

その後、セントレアへ貨物専用便を就航している航空会社等から、各社のセントレアを起点とした航空貨物ネットワーク、サービス等について、パートナー企業への情報提供を行った。

「フライ・セントレア・カーゴ」パートナー企業を募集中!

中部国際空港利用促進協議会では、国際航空貨物の需要を拡大し、貨物専用便の増便や新規路線誘致につなげるため、セントレア発着便の積極利用にご賛同いただけるパートナー企業を募集しています。特典として、利用促進支援のための各種キャンペーンをご利用いただけるほか、セントレアに就航する航空会社及び貨物に関する情報の提供やパートナー企業の皆様のご紹介、宣伝をさせていただきます。詳細につきましては、右記事務局までお気軽にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

中部国際空港利用促進協議会事務局

(社)中部経済連合会航空担当 伊藤・萩原

TEL 052(962)8091

<http://www.fly-centrair.jp/>